



愛情

いっぱい

ミルク豚汁が出来あがりました

目次 Contents

中央会会長メッセージ	2
秋の収穫祭	3
女性部活動	4~5
青年部活動	6~8
年金友の会	9
北海道ホルスタインナショナルショー	10~11
同志会通信 (写真コンテスト)	12
同志会通信 (絵画コンテスト)	13
未来牧場通信	14~15
別海高校活動報告	16
営農対策情報	17
生乳課情報	18
理事会・乳質乳価	19
JAグループ通信	20
クロスワード	21
組合員の広場 (春別寿会活動)	22



農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊 幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で75年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

一昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大し、社会・経済にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、農業分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費の低迷、飼料・肥料等生産資材の高騰により農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しております。

思い返すと世界規模での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクの需要が急激に増加しましたが、その大部分を海外からの輸入に頼っていたことから、国内は深刻なマスク不足に陥ってしまいました。

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を

制限しました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していませんでしたが、今のところ大きな影響には至っておりませんが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうなってしまうのか。私たちにとって大きな教訓となりました。

このことから、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国産国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国産国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国産国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げます。農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



三年ぶりのミルク豚汁

秋の 収穫祭



10月21日(金)農協前にて秋の収穫祭が開催されました。
当日は天候にも恵まれ、多くの人出で賑わいました。会場には野菜や果物、酪農資材や防寒・暖房器具等の商品が格安で販売されました。
中でもひととき人気を集めたのが「みかん」の詰め放題。バケツに入るだけ詰めて500円とあって、人が途切れることなく大人気でした。
また青年部ではチクレン牛肉の試食販売が行われ、肉の香ばしい匂いが食欲をそそりました。新商品のキタウシリ牛トロフ



レークの販売も行い、人気を集めていました。
女性部は、3年ぶりに牛乳を使ったミルク豚汁を無料提供しました。前日の準備では久々の事もあり、みんなで相談しながら調理していました。当日は、「大きな鍋でたくさん作っているからやっぱり美味しいね」とたくさんの人に食べていただきました。



花壇整備 来年もすてきな花壇をお楽しみください！



園芸グループで、10月28日(金)に花壇の片付けを行いました。肌寒い中ではありましたが、たくさんの方が集まり作業を進め、あっという間に農協を彩っ



た花や雑草を抜き、すべての花壇を片付ける事が出来ました。来年も農協に訪れる人に楽しんでいただけるような花壇作りに努めて参ります。

別海町酪農女性のつどい



令和4年10月12日(水)別海町生涯学習センター(みなくる)で第50回別海町酪農

女性のつどいが開催されました。

南澤副実行委員長の挨拶からはじまり、今回は『コロナ禍でも健康に！』をテーマに、【健康に良いストレッチ講座】ではBODYCARE REPRESENTATIVE 代表 渡邊彩姫先生を講師に招き、実際に体を動かした講演、【あなたにあった養生法の見つけ方】については、ひといき 代表 駒山洋美先生を講師に招き、自分に合った漢方の見つけ方等についての講演をしていただきました。

短い時間ではありましたが、健康に良いストレッチを実際に体験し、漢方茶などを用いた養生法を学ぶことで、家事・育児・介護等々あげたらきりが無い程の毎日忙しい中でも、今回の研修で日々の疲れを癒し、毎日の中に少しホッとできる様な内容を見つける事ができました。



料理教室

令和4年10月26日(水)尾形好枝さんの紹介で来て頂いた鉤路市の塚田杜旨子さんを講師に招き、料理教室を開催しました。

メニューは、ロールパンの海老つめ・キノコと牛乳のクリームパスタでした。牛乳の消費拡大を目的としてレシピを考案し、配布

用の冊子も手作りして頂きました。

説明を受けながら調理し、塚田さん手作りの甘麹も料理に混ぜ、二品とも健康的でおいしく出来あがりしました。

たくさんの方が参加をし、賑やかな料理教室となりました。



青年部 道内視察研修会 実りある視察研修。今後の酪農経営へ

青年部では、10月24日(月)～25日(火)にかけて部員7人参加のもと、知識向上を目的に視察研修会を実施しました。

なお、開催にあたり、抗原検査キットの活用やマスクの着用など新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した中で行いました。

○(株)植田牧場○

1日目は、阿寒郡鶴居村にある(株)植田牧場を視察しました。(株)植田牧場では、令和3年度に搾乳ロボット2台(LELYアストロノートA5)を入れた新牛舎を稼働しており、牛舎の設計には、日本ではまだ導入事例の少ないフィンランドの4d Barn(コンサル・設計会社)を採用しておりました。

4d Barnは北欧フィンランドにある会社で、酪農に関する実務や建築・土地活用、換気、牛群の健康管理からカ



牛舎の説明を受ける部員

ウエルフェアまで、牧場経営に欠かせないスキルと有効な施設整備を総合的に提案する専門的な会社です。個々の牧場の特性に最適な改善策を、対話を重ねながら導き出す手法を取っており、具体的には図面を描く前に牧場の目標や管理方法など70以上の項目について確認をし、最良の選択肢を検討しております。さらには、牛舎単体の設計だけではなく、牧場の全体像を視野に入れた上でレイアウトを決定していることから、今ある設備や建物を生かしながら労働効率に配慮した、1人の人が簡単に作業出来るデザインが実現でき、酪農経営においてカルウェルフェアを特に注力している北欧ならではの考え方が見受けられ、牛にも人にも優しい牧場経営に取り組めるそうです。

4d Barnにより設計された牛舎は、とても特徴的な造りとなっており、全体的に作業効率を上げるような特徴や工夫が沢山なされています。



搾乳ロボットの説明を受ける部員

した。植田社長は、4d Barnを導入した感想として、作業は圧倒的にしやすいく感じしており、パーラーの方では、どうしても3人工は必要だが、ロボット牛舎の方は、搾乳牛だけではなく乾乳牛用のスペースがあるにもかかわらず1人工で作業が完了できるので、作業効率という点では圧倒的に高いと思うとのことでした。

また、牛舎内の環境や牛の健康を考え、糞尿処理にEYSクイックコンポスター(コンテナ型固液分離機・発酵装置)を導入しており、牛床



セパレーターを確認する部員



EYSクイックコンポスター(外観)



EYSクイックコンポスター(モニター)

若い力を結集して未来の酪農郷を築こう！

Y o u t h A s s o c i a t i o n



に戻し敷料を使用しています。糞尿処理問題の解決と効率化、乳牛に対する安全で快適な敷料生産といった、環境問題の両立を実現されています。

さらには、雇用関係や自社の情報発信に当たっては、SNS等の活用に注力しているとのこと。若手は特にスマートフォンを使って情報収集をしていることから、HPの有無はかなり大きな要素と感じているとのこと。



出来上がった敷料を触る部員

他にも、FacebookやInstagramなど、若手から中年層にかけてどの世代にも通ずるようなSNSを活用して情報発信等、広報活動を行っているとのこと。

○(株)アグリダイレクト○

2日目は、芽室町にある(株)アグリダイレクトを視察し、沖田営業部長
案内のもと、会社概要や海外農業機械に係る為替変動を踏まえた情勢の説明をいただきました。

(株)アグリダイレクトは、2000年に創業され、海外製農業機械やタイヤ、部品の輸入と販売、農業機械・トラクター等の整備を行っております。販売品は、テレハンドラーなどを扱うJCB社(イギリス)やケンブリッジローラーやディスクローラーなどを扱うHEEVA



会社概要を聞く部員

社(デンマーク)等、ヨーロッパを始めとするアメリカ・アジアなど11ヶ国・20社以上の海外メーカーと取引をされており、多くの海外メーカーに係る日本の総代理店となります。

本所のある十勝の他に、千歳市や栃木県にも保管庫を構えており、道内はもちろん日本各地へと販売を展開しております。

概要等の説明後は敷地内機械の見学と試乗をさせていただきました。



機械の説明を受ける部員

機械に係る質問や、沢山ある機械に部員たちも釘付けでした。今回の視察を通じて得たことを活かして、これからの営農や青年部活動に努めていきたいと思えます。



テレハンドラーを試乗する部員



若い力を結集して未来の酪農郷を築こう！

Y o u t h A s s o c i a t i o n

ロールパックメッセージを製作

青年部消費拡大事業の一つロールパックメッセージの製作を10月19日(水)に行い、沢山の参加者が協力のもと完成しました。

標語の考案は中春別小学校、中学校の皆さんにご協力いただき、次のように決まりました。

楽しい毎日

Withミルク！



中春別中学校

高野 桜弓さん
たかの ささゆみ

当日は天候にも恵まれ、周辺の草刈り・ロール積み作業・文字貼りといった一連の作業を実施。ロールを55個使い、迫力あるメッセージが仕上がりました。

また、農林水産省大臣官房広報評価課広報室の伊藤葉子(いとうようこ)職員が美原地区・山田晃嗣牧場での農村研修期間を利用して、青年部との交流を兼ねたロール貼り作業に参加いただきました。

作品は(株)なかしゅんべつ未来牧場全酪連育成センター敷地に展示しておりますので、移動の際はぜひご覧ください。



年金友の会

寒さに負けず 活気あふれるパークゴルフ



中春別農協年金友の会（紫藤 正幸 会長）では、10月26日（水）中春別ヘルスパークにて、会員14人参加のもと、秋季スポーツ交流会としてパークゴルフを行いました。
当日の天気は曇りで、少し肌寒い中でのプレーとなりました。久しぶりの中春別ヘルスパークでのパークゴルフであり、OBの声があちらこちらから聞こえる中、大会は大いに盛り上がりました。



今回のルールは、3人のグループでコースを回り、競技が終わった人から順にクジを引き、同じ番号同士がペアとなり、ペアの合計打数を順位として決めました。その結果、紫藤正幸さん・兼松みち子さんペアが優勝しました。新型コロナウイルスの収束が見えない状況の中、たくさんの方に集まっていたいただき無事交流会を終えることができました。
季節の変わり目となり、体調の崩しやすい時季となつて来ましたが、風邪には十分気をつけていただき、次回もたくさんさんの参加をお待ちしております。

年金友の会 会員募集

年金友の会では年々会員数が減ってきている現状にあります。今回のスポーツ交流会を始め、年1回の旅行や年2回のお楽しみ会など楽しめる行事がたくさんあります。年金受給者並びにこれから年金を受給される方で年金友の会に入会したいと思う方が居ましたら是非、中春別農協年金友の会の事務局までご連絡下さい。

事務局 金融共済課 貯金係
電話 0153-76-2314



熱戦を繰り広げた中春別ホルスタイン

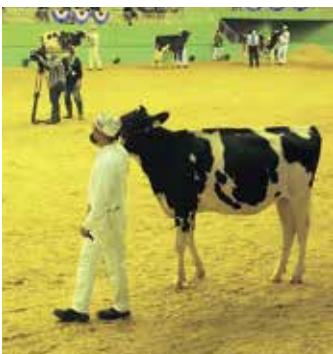
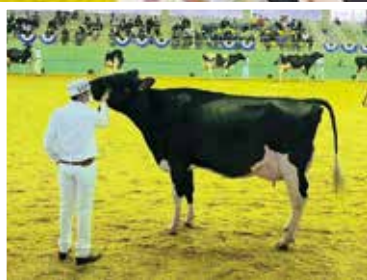
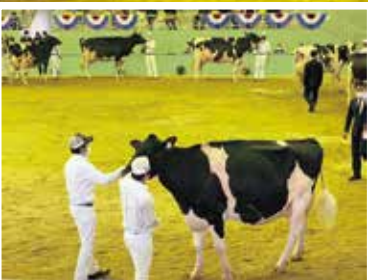
2022北海道ホルスタインナショナルショウ

9月24日(土)、25日(日)にかけて勇払郡安平町早来北海道ホルスタイン共進会場において2022北海道ホルスタインナショナルショウが開催され、全道各地の予選を勝ち抜いた320頭(根室管内42頭)が集結しました。

オフィシャル・ジャッジには株式会社十勝家畜人工授精所ワールド調査部次長の児玉辰司氏、アソシエイト・ジャッジには一般社団法人ジェネティクス北海道事業推進部部長の藤田功氏が務められました。当農協からは4戸7頭(未經産牛3頭、経産牛4頭)が出品され、第5部未經産牛ミドルクラスにて小湊均氏出品の「ビユーテイガール アンクレット タトゥー」号が1等2席、第12部ジュニア3歳クラスにて山田侑甫氏出品の「YMD ロクセツト BN キング ドツク リゼロ」号が1等5席、寺澤佳吾氏出品の「プロミネ

ンス アシユリン エンジエル ドリーム」号が2等5席を獲得するなど、当農協の入賞率は42・9%と大変素晴らしい活躍をみせました。見事グラントチャンピオンに輝いた士幌町山岸剛氏出品の「サクランド ドアマン ロケツト ET」号は第13部シニア3歳クラスの1等1席で、インターミディエイトチャンピオンも獲得しており、体高、体長、体の深さと幅のバランスがよく正確なフレームで、乳器においても前乳房の付着の強さ、後乳房の高さ、幅、底面の高さを持った素晴らしい牛でオフィシャル・ジャッジの児玉辰司氏も「素晴らしいフレーム、素晴らしい乳房」と絶賛しており会場を魅了しました。

今シーズンのショウの集大成とも言える今回の共進会を終えましたが、来年以降また素晴らしい牛達に出会えるよう楽しみにしています。



2022北海道ホルスタインナショナルショー

成績

開催日時：令和4年9月24日(土)・25日(日)

オフィシャル・ジャッジ：児玉 辰司 氏 (株式会社十勝家畜人工授精所 フィールド調査部 次長)

アソシエート・ジャッジ：藤田 功 氏 (一般社団法人ジェネティックス北海道 事業推進部 部長)

部	成績	名 号	出品者
2	3等賞	YMD アリシア CVTT ソロモン アンブレラ ET 生年月日:R03.10.22 父牛名号:ウオールナットローン ソロモン ET	山田 侑甫
4	3等賞	YMD モント KDC タトゥー ヒラリン 生年月日:R03.06.02 父牛名号:ダケツ クラツシュ タトゥー ET	小湊 均
5	1等賞2席	ビューティガール アンクレット タトゥー 生年月日:R03.05.11 父牛名号:ダケツ クラツシュ タトゥー ET	小湊 均
12	2等賞5席	プロミネンス アシュリン エンジェル ドリーム 生年月日:H31.04.09 父牛名号:アグレスティ ダニーズ ドリーム ET	寺澤 佳吾
12	1等賞5席	YMD ロクセツ BN キング ドツク リゼロ 生年月日:R01.05.22 父牛名号:ウツドクレスト キング ドツク	山田 侑甫
14	3等賞	プロミネンス グロラン ウイングス ソロモン 生年月日:H30.01.10 父牛名号:ウオールナットローン ソロモン ET	寺澤 佳吾
14	3等賞	ライブリー ドアマン ブリジッタ ET 生年月日:H30.05.25 父牛名号:バルビツソン ドアマン ET	山田 光男

●チャンピオン牛一覽

	出品番号 / 名 号	出品者
グランド・チャンピオン インターミディエイト・チャンピオン	1327 サクランド ドアマン ロケツト ET 生年月日:H30.10.03 父牛名号:バルビツソン ドアマン ET	士幌町 山岸 剛
リザーブ・グランド・チャンピオン リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン	1208 バージニア ウェルトツプ GC カレント 生年月日:R01.07.02 父牛名号:ミスター チャシティー ゴールド チツプ ET	更別村 今村 慎吾
ジュニア・チャンピオン	709 フオレツクス サイドキツク C ベテイ 生年月日:R02.12.01 父牛名号:ウオールナットローン ソロモン ET	中札内村 森 淑嗣
シニア・チャンピオン	1422 TMF ゴールド ジエイコブ インサート リアン ET 生年月日:H30.01.03 父牛名号:JK エダーアイ コントロール ET	清水町 (有)田中牧場
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	326 ビクトリア ウオール インプレツション デイアナ 生年月日:R03.08.15 父牛名号:モニユメント インプレツション ET	紋別市 永峰 勝利
リザーブ・シニア・チャンピオン	1515 ファインデール チツプ クイーン 生年月日:H28.12.21 父牛名号:ミスター チャシティー ゴールド チツプ ET	標茶町 (株)ファインデール

●管内成績

出品頭数42頭

区分	入賞頭数	入賞率
1等賞	5	11.9%
2等賞	18	42.9%
合計	23	54.8%

●当農協

出品頭数7頭

区分	入賞頭数	入賞率
1等賞	2	28.6%
2等賞	1	14.3%
合計	3	42.9%



第45回 ホルスタイン 写真コンテスト 3歳ジュニアクラス

寺澤佳吾会長の下に中春別乳牛改良同志会では、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。



予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課(畜産指導係 ☎76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募メ切は、12月10日(土)となっておりますので期日までに応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は2023年1月号で発表致します。

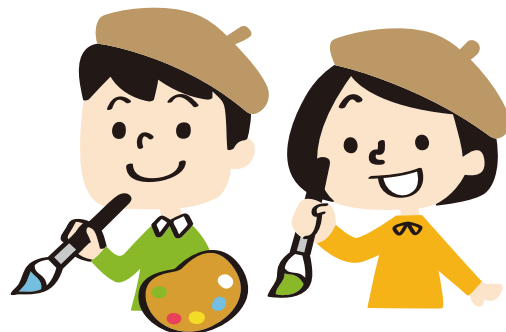


JA中春別乳牛改良同志会

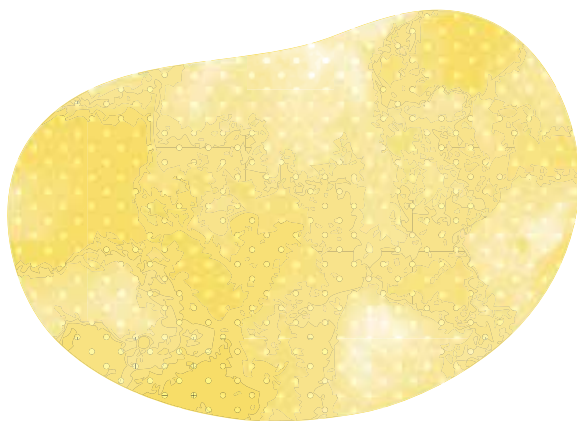
絵画コンテスト

本誌4月号の「絵画コンテスト」のご案内から約1ヶ月半の応募期間を経て、5月31日に募集を終了いたしました。

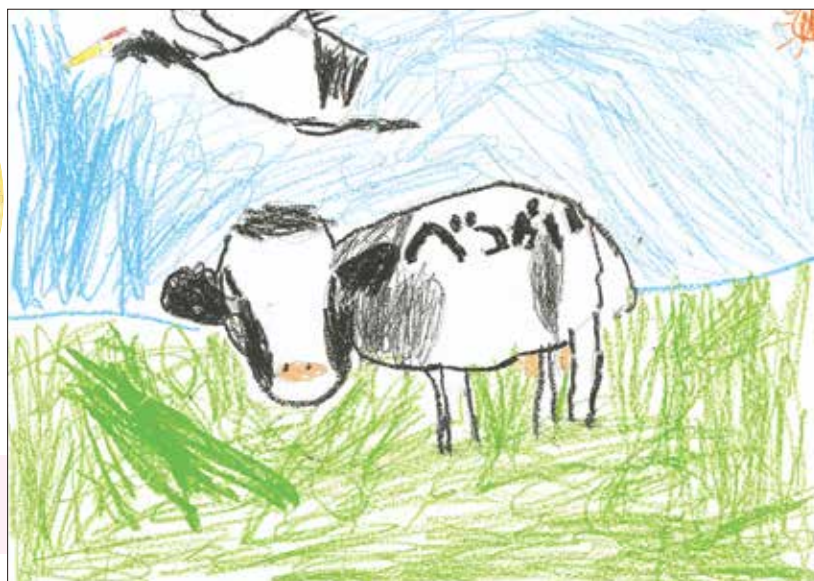
昨年に続きたくさんの応募があり、受賞されなかった方々の作品も掲載させていただきます。



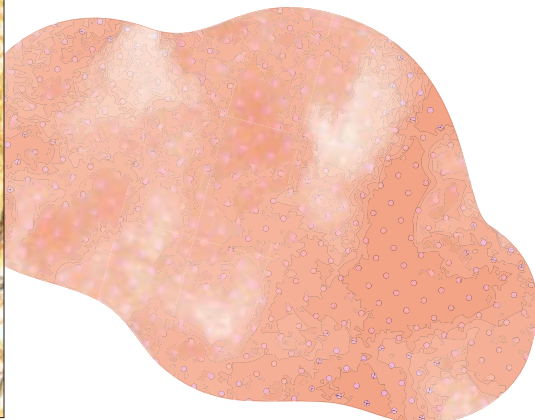
寺澤陽菜子さん (8才)
「ミルクを飲む子牛」



戸村 珀翔さん (7才)
「なかよし」



高野 七翠さん (6才)



学外授業が開催されました

10月6日(木)地域コミュニティースクール推進の一環として、中春別中学校2年生、教員8名が当研修センターを訪れ、学外授業が実施されました。

始めに搾乳舎内の機器関係を見学し、酪農家の生徒もおり、自動で搬送する搾乳機や、自動給餌機、餌寄せロボットなど、

自動化された機械類に関心を寄せていました。

搾乳牛が1日に採食する牧草、配合飼料の量に驚き、哺育舎では人に慣れた子牛に触れ合っていました。

座学では、研修センターの設
立経過と研修内容の説明を受け、酪農家になるための研修の場であることを学んでいました。

10月18日(火)は、別海高校酪農経営科1年生、教員8名が授業の一環として酪農実習に訪れました。

この度の授業は、厳しい酪農環境の中、酪農の基礎・現状について理解を深めるとともに、体験的な学習を通して、乳牛の管理方法を学ぶ事を目的にしました。

中には酪農家の後継者となる生徒もおり、繋ぎ方式による自動化された搾乳機器類に興味を示し、我が家との違いを実感しながら、質問をしていました。

その後、手作業による配合飼料給与、餌寄せ、ホーキングを体験し、日頃授業で学んだ事を実際に体験でき、生徒たちは目を輝かせながら、貴重な実習になりましたと報告がありました。





堆肥・消化液散布作業始まる

秋の肥培管理作業の一環 散布作業が始まりました。
として、堆肥及び消化液の 来年度は原料価格の高騰



から、肥料価格が大幅に値上げになるため、肥料コスト削減に向け、糞尿の有効活用がより一層重要であることから、研修センター用粗飼料収穫地である富岡牧野草地85診へ、堆肥並びに消化液を散布いたしました。

研修センターでの糞尿処理は、搾乳舎ではスラリーをバイオガス発電に搬入し、消化液は草地へ散布、再生敷料は哺育育成舎、乾乳舎で敷料として再利用しており、特に堆肥については再生敷料を使う事で発酵速度が速く、定期的な堆肥の切返しにより、4ヵ月で完熟堆肥が完成します。また、消化液はヘクタール当たり2トンを秋・春に散布し、化学肥料成分の一部を補う原料として有効活用しています。

研修生は糞尿の有効活用を確認しながら、来年度の就農に向け肥培管理の習得に取り組んでいました。

夏期放牧牛が下牧される

共和育成センターでは10月15日(土)、夏期放牧牛224頭の内、74頭が受入組合員宅へ下牧され、残りの預託牛は分娩前まで育成舎内で飼育され、順次下牧になります。

計画的な草地改良により、良質粗飼料を採食させるため、放牧地の適期移動に取組み、発情発見と適期授精、定期的な肺中駆除、妊娠鑑定を行い、大きな疾病事故もなく、夏期放牧を終えることが出来ました。





北海道別海高等学校

酪農経営科・専攻科だより

11 月号

●【酪農経営科】プロジェクト活動中間報告会

9月29日(木)今年度初の試みとして、プロジェクト活動中間発表会が行われました。それぞれの専攻班が活動内容、今までの成果、今後の予定を模造紙にまとめ、現段階の状況を他の班員と共有を行いました。



ポスター作製の様子



ポスター発表の様子

今後、各専攻班では12月7日にみなくるで行われる校内実績発表に向けて、1年間の活動内容と成果をまとめていきます。

●【酪農経営科】1日体験入学

9月30日(金)に体験入学が行われました。今年度は11校114名の中学生が体験入学に参加してくれました。模擬授業では9系統11科目に分かれ、酪農経営科では、チーズ製造や機械の運転、土壌分析など特色ある模擬授業が行われました。



チーズ製造の様子



機械運転の様子



土壌分析の様子

事後アンケートでは、「わかりやすく良かった。」「初めての体験で緊張したが、楽しかった。」「知らないことが知れたので良かった。」と感想が寄せられていました。

●【酪農経営科】食彩フェア

10月8日(土)に帯広のイトーヨーカドーで行われた、「さんフェア2022 農業高校食彩フェア」で乳製品加工班のストリングチーズとヨーグルト、そしてガーベラ、シクラメンを販売しました。



食彩フェアの様子



販売の様子

乳製品は午前中に完売、ガーベラ、シクラメンも昼過ぎに完売となりました。

●【専攻科】研究活動中間発表会

9月14日(水)、研究活動の中間発表会を行いました。研究成果の中間まとめや研究方法の改訂、今後の進め方について、7名の学生が報告しました。2月8日(水)に、まとめの研究発表会の開催を予定しています。興味のある方・聴講されたい方はご連絡ください。学校代表電話 0153-75-2053



研究活動中間発表会の様子

●【専攻科】第5回酪農技術現地研修会

9月27日(火)、中標津町俵橋にある「希望農場」を訪問させていただき、ロボットロータリー施設やコンピュータ制御の換気システム牛舎を見学しました。代表取締役 佐々木 大輔 様より導入の経緯や将来ビジョンについて、とても熱がこもったお話を伺い、0から1を作り出すなど行動することの大切さやビジョンを実現するためには人の繋がりが重要であることを実感することができました。



佐々木氏のご説明を拝聴

将来、酪農経営者を目指している学生にとって大変貴重な時間となり、特に家業から企業へ発展させ、更には地域の発展までを考えるよい機会となりました。改めて、自家牧場・研修先ではどのようにしているのかなどを考えるよい視察となりました。

●【専攻科】乳牛疾病学

根釧地域における疾病の知識向上や対策を理解するため、3日間、乳牛疾病学を行いました。

【26日(月)】根室家畜保健衛生所指導課指導専門員 菅原 明日香 様より「家畜伝染病予防法規」、専門員 窪 香菜子 様より「根室管内で見られる主な疾病」についてご講義をいただき、防疫や伝染病発生時の対処について細かくご指導いただきました。

【28日(水)・30日(金)】北海道農業共済組合 ひがし統括センター 根室南部支所 根室南部第3家畜診療所 主任 渡辺 陽子 様より「農業災害補償制度の概要」についてご講義いただき、午後からは事業センターで、手術の様子を見学しました。手術中に術式や手技の説明、病気の原因・予防法など詳しく説明をしていただきました。



手術見学の様子

学生からは、「疾病要因や予防方法などわかりやすく説明していただきよく理解できました。予防対策を行い、丁寧に牛を観察し、早期段階で対処できるように心掛けたい。」という感想がありました。



根室管内では乳牛への受精卵移植による黒毛和種生産頭数が増えています。今回は、市場価値の高い子牛づくりをめざして、市場の傾向を踏まえた子牛管理について確認しましょう。

1 黒毛和種初生牛の販売方法は？

根室管内で生産された約50%の子牛は、初生牛市場で販売されています（普及センター調べ）。また、ホクレン根室市場で取引される子牛の頭数は年々増加しています（図1）。

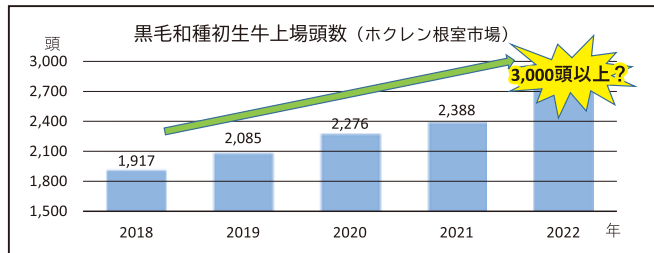


図1 黒毛和種初生牛市場上場頭数の推移

初生牛市場の上場について

原則、“生後7日齢～2ヶ月齢未満の子牛”市場上場日齢は、生後40日以上が約70%を占めています。（普及センター調べ）

なお、下痢の発生や肢・ヘソの状態が悪いなどの場合、価格は低くなる傾向があります。

2 家畜市場購買者のニーズと市場成績から～有利販売のカギ～

市場での有利販売に向けて、市場購買者アンケートや市場データから見えたポイントがあります。

ホクレン根室市場の購買者にアンケート調査をした結果、“健康な牛”であることや“良好な発育”を求めており、必ずしも“血統”だけを求めている訳ではありませんでした（図2）。

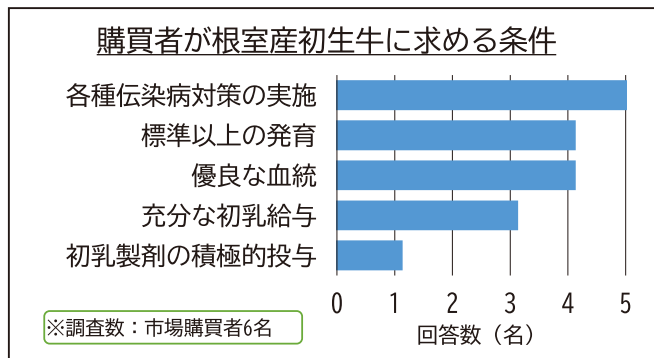


図2 市場購買者アンケート結果（R3普及センター調べ）

種雄牛A産子（♂）の市場成績から、体重が大きいほど価格が高い傾向がありました（図3）。このことから、“発育のよい健康な牛づくり”が生産者には求められています。

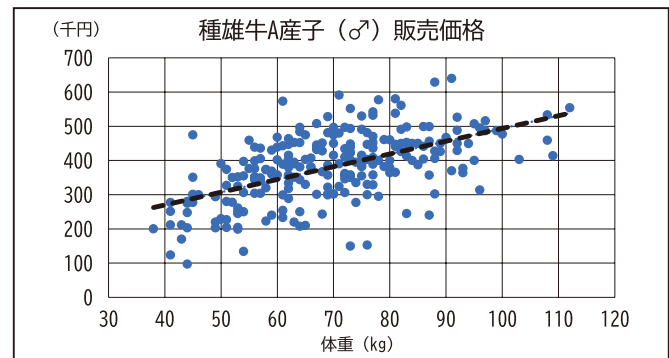


図3 ホクレン根室市場成績（R2）

3 哺乳管理方法のポイント～黒毛和種受精卵産子の育て方～

初生牛市場で販売する場合、短期間の勝負になります。ホル雄や交雑種と比べると“生時体重が小さい”、“虚弱な牛が多い”点で、下痢をさせずに発育の良い牛づくりをするためには高度な飼養管理技術が求められます。子牛の管理で困った場合、下記の管理ポイントを参考にして下さい（表1）。

表1 哺乳管理方法のポイント

農場で悩む要素	農場で試す価値のある方法
ミルク給与量の見極め	体格が小さい→無理のない量を給与。体格が大きい→飲める量を給与。
虚弱牛が散見される場合	初乳製剤の補助的利用で免疫力アップを。1頭に3～5袋使用する農場もあり。
ミルクの飲みが悪いとき	小さい子牛が飲みやすいように、哺乳用ニップルのサイズを変えてみては。

※明らかな体調不良などは、速やかに獣医師の判断を仰いで下さい。

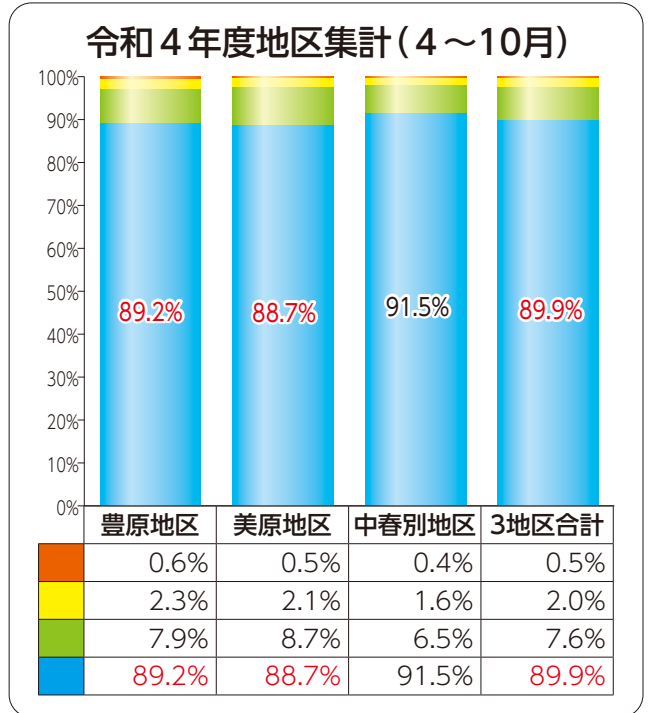
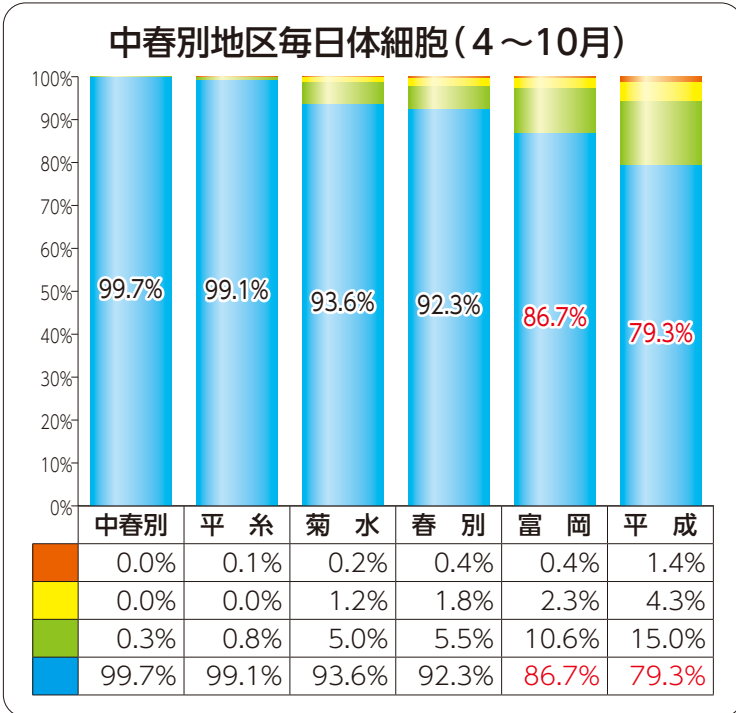
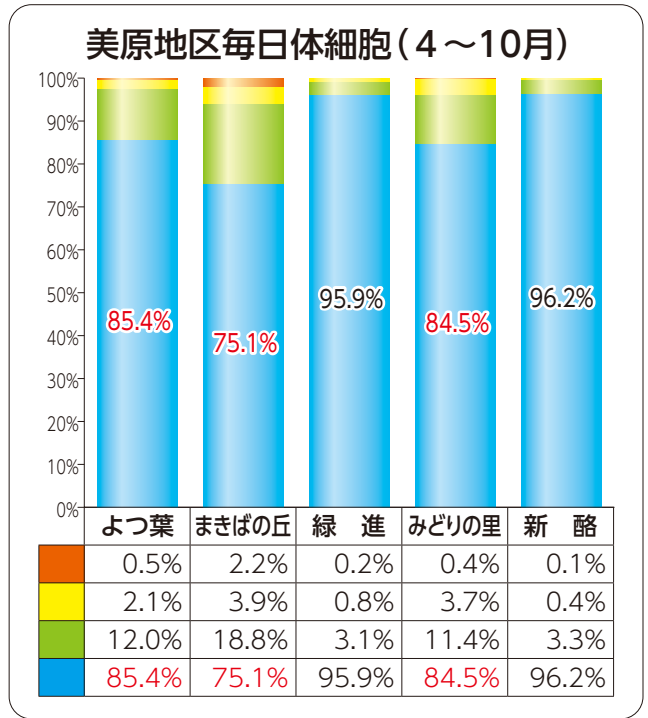
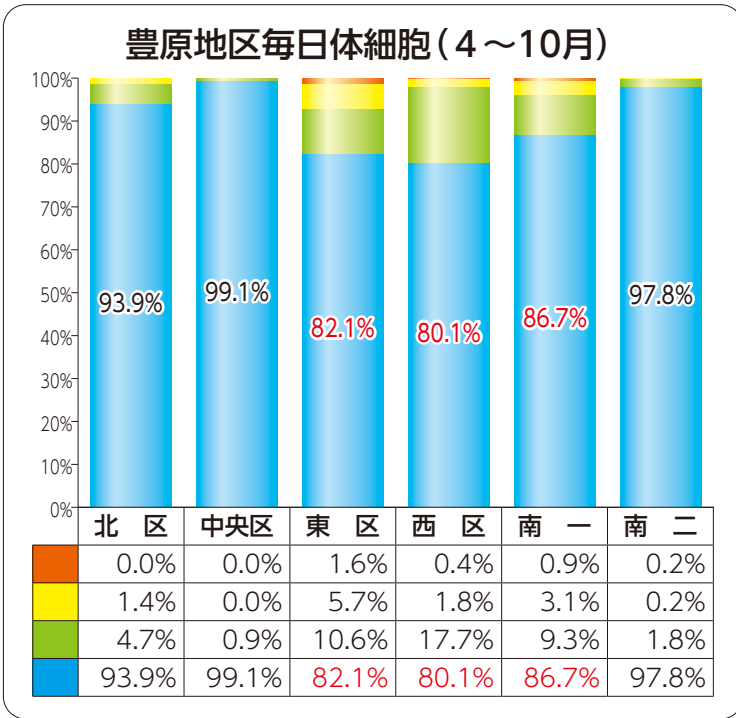
上手な黒毛和種子牛の管理のために農場で最適な方法を見つけて、市場購買者に求められる牛づくりを目指しましょう。

生乳汚染事故を無くそう!

令和4年10月31日現在	JA中春別発生	管内合計件数
抗菌性物質混入事故	1件	6件
生菌による汚染事故	0件	0件
異物混入、加水、血乳による汚染事故	0件	1件
異臭、異常風味による汚染事故	0件	0件

**ミスは焦りと油断から
みんなで作ろう
中春別の良質乳**

良質生乳生産推進委員からの標語



凡例： ■ 50.5万以上 ■ 40.5~50.4 ■ 30.5~40.4 ■ 30.4万以下

第9回 理事会の動き

令和4年10月27日(木)

報告事項

- 1 令和4年度9月末財務状況について
- 2 令和4年度9月末購買事業実績について
- 3 令和4年度9月末購買棚卸結果について
- 4 令和4年度9月末基準決算見通しについて
- 5 令和4年度9月末基準子会社の決算見通しについて
- 6 令和4年度9月末子会社における監査報告について
- 7 令和4年度上半期経営定期点検報告について
- 8 固定資産の実査について
- 9 令和4年度一日皆貯金の実績報告について
- 10 理事に対する資金の貸付に係る報告について
- 11 令和4年度9月末営農関連実績について
- 12 「第39回菊と緑の会inべつかい」結果報告について
- 13 2022北海道ホルスタインナショナルショウの結果について
- 14 特定疾病感染状況について

議案

- 1 令和4年度下半期余裕金運用計画額及び運用方針について
- 2 令和4年度半期ディスクロージャー誌による開示について
- 3 飼料価格高騰緊急対策事業の実施について
- 4 令和4営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
- 5 令和4営農年度農林漁業セーフティネット資金の貸付について
- 6 令和4営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更・認定について
- 7 令和5営農年度営農基本方針(案)について
- 8 生活クラブ連合援農体験の実施について
- 9 令和4年度府県乳牛動向追跡調査の実施について
- 10 特定疾病感染補償互助会の支払いについて
- 11 美原公共肉牛牧場農地の一部買受申請について

協議事項

- 1 組合員懇談会の意見集約について

9月乳質乳価一覧表

		単価 (円)	算出基礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)	
乳脂肪分		976.352		38.87	38.51	0.36	
無脂乳固形分		619.400		54.20	54.37	-0.17	
生産者補給金		5.9727		5.97	5.96	0.01	
集送乳調整金		1.8728		1.87	1.87	0.00	
補給金合計		7.8455		7.84	7.83	0.01	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	317,346,199.3	3.70	3.73	-0.03
		ランク2	0	12,932,905.3			
		ランク3	-3	398,461.2			
	体細胞数	ランク1	2	288,189,855.6			
		ランク2	1	21,151,686.9			
		ランク3	-2	4,578,433.7			
合計				104.61	104.44	0.17	

9月生乳受託実績表

項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分①	38円87銭	
無脂乳固形分②	54円20銭	
生産者補給金③	5円97銭	
集送乳調整金④	1円87銭	
脂肪率	全道	3.98%
	農協	4.08%
無脂固形分率	全道	8.75%
	農協	8.69%
成分乳価 (①+②+③+④=⑤)	全道	100円91銭
	農協	101円52銭
乳質乳価⑥	全道	3円70銭
	農協	3円67銭
乳代合計 ⑤+⑥	全道	104円61銭
	農協	105円19銭
	差異	0円58銭



各団体の詳しい取り組み内容については、WEBサイトをご覧ください。

●JA北海道中央会



◆HTBまつりにてJAカレーガチャを開催！

9月30日～10月2日の3日間、さっぽろ創世スクエアにてHTBまつり2022が開催され、JAグループ北海道では、米の消費拡大を目的にブースを出展しました。

ブースでは「ガチャ」を活用し、1回1000円で道内JAのレトルトカレーやOnちゃんグッズが当たるイベントを行い、590回を超える参加をいただきました。



期間中は、「国消国産」に関するSNS投稿をした方が数量限定で挑戦できる無料ガチャ企画も行いました。ブースには、お笑い芸人錦鯉のお二人やイチモ二農園で米づくりに挑戦した田口彩夏アナウンサーも訪れ、大いに盛り上がりました。(本イベントの売上の一部は、子ども食堂に寄付いたします)



今後も食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、国消国産を広く周知するための情報発信を強化して参ります。

●JA北海道信連



◆親子で学ぼう！あぐりキッチン教室

JAバンク北海道の食育活動として、JA・農協観光・上川生産連と連携して、親子で農産物の収穫・調理を体験するバスツアー企画を10月から12月に実施します。

稲刈りをして新米でおにぎりを作るなど、農業体験が初めての親子でも楽しめるプランを用意しています。

食への関心を高める企画を通じて、北海道農業のサポーターづくりを進めて参ります。



稲刈りの様子



●JA共済連北海道



◆自動車共済お見積りキャンペーンを実施

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しています。キャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で13,500名様にお掃除ロボットなど素敵な賞品を用意しています。

キャンペーンは令和5年3月31日(金)迄です。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております！



●ホクレン



◆UHBテレビにてミニ番組スタート

ホクレンとUHBが共同制作したミニTV番組「それはまるでトリンドルな1日でした。」が9月6日よりスタートしました。放送は、毎週火曜日・午後9時54分からです。

農業現場に訪れたトリンドル玲奈さんが、農畜産物の調理・食事などを通じて、北海道農業の美しさや食材の魅力をお届けする新番組です。UHBの公式Youtubeチャンネルで配信中の長尺編と併せて、ぜひご視聴ください。



●JA北海道厚生連



◆看護師採用HPを開設

このたび、看護師採用専門ホームページを開設しました。

それぞれの事業所を紹介しながら、地域医療を共に支えてくれる仲間を募集しています。

下記QRコードよりサイト閲覧が可能ですので、より多くの方々にアクセスをお待ちしています。

また、Twitter (@kouseihosp_ns) でも最新情報を発信していますので、チェックしてみてください。





毎日元気に!!



春別寿会では10月8日(土) 菊水会館で別海町の介護予防クラブ『ステップ』の大和田所長を講師に招き、介護予防の運動を行いました。みんなで輪になり、歌いながらリズムに合わせて足踏みをし、手や腕の運動に挑戦しました。

介護予防クラブ『ステップ』は、介護予防に特化した通所事業所で、平成30年4月からオープンし5年目を迎えます。

脳トレや軽い運動、昼食の提供を通じて、高齢者の運動機能の向上や認知症予防に取組んでいて、「自立した老後を目指しましょう

う」をテーマに活動を行っており、春別からも沢山の方が毎日利用しています。

今回の取材は、平林さんから依頼があり、一緒に運動をして写真を撮らせていただきました。

今後も「ちょっとした事だけど広報に載せてほしい」「みんなに見てほしい物がある！」等、組合員広場で掲載したいと思っているのでJA中春別 営農振興課 (☎76-2241) まで連絡お願い致します。

組合員の広場では、習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。 営農振興課 木下までお気軽にご連絡ください。